



医療安全かわら版

横須賀共済病院 医療安全管理部 第5号 (2024年5月)



入院中の患者さんには、治療・回復を目的としたお食事を医師の指示のもと、管理栄養士が管理し提供しています。

今回は栄養管理科より、

『入院時に患者さんに確認していること』

『相談することで対応できること』

『患者さんをお願いしたいこと』

についてお知らせします。

入院時(前・後)に確認していること

・食物アレルギー

- ・該当する食品
- ・症状(かゆみ・蕁麻疹・呼吸困難・・・)
- ・普段の摂取状況(食べても症状が出ない範囲) など

・むせやすい・かみづらい

- ・むせやすい・かみづらいことがある場合・・・
- 自宅や施設等での食事の形態・とろみの有無 など

・体重減少の有無・入院前の消化器症状

- ・ダイエット以外で体重減少がある場合・・・
- いつから・どのくらい減っているのか
- ・継続する下痢・嘔吐、食欲の低下 など

栄養士に相談することで対応できること

※医師に確認し、対応出来ないこともあります

・食事形態の調整

- 例) 入れ歯が合わなくなり、食事が噛み切れない
硬いものが食べづらい
→ 一口大にカットしたり、細かく刻んだ食事に変更
- 例) 食事や水分でむせる
→ とろみのついた食事(嚥下調整食)に変更

・主食の変更

- 例) ご飯が硬くて食べにくい
→ 軟飯や分粥(全粥・5分粥・3分粥)への変更 など

栄養士から患者さんへのお願い

- 毎食時、配茶を行っております。衛生上の観点から、コップは下膳時の返却にご協力ください
- スプーン・フォークは病棟にまとめて配膳しています。必要な時は、看護師等にお声かけください。
- 栄養相談をご希望の際は、主治医へご相談ください。

食事の前にちょっと確認

- お食事のトレーを受け取る際にお名前を名乗ってください
- お食事のトレーには食札がのっていますお名前の確認をお願いします



氏名